熊本学園大学付属海外事情研究所　2017 年度第 4 回研究会

トランプ大統領とアメリカ連邦最高裁判事指名について

講師：横大道（よこだいどう）　聡（さとし）氏

（慶應義塾大学大学院法務研究科　准教授）

日　時：2017 年 12 月 2 日（土）

１３：００～１５：００

場　所：熊本学園大学 本館 3 階 特別会議室

参加費無料

2016 年 2 月、アメリカ連邦最高裁判所のアントニン・スカリア判事が亡くなった。これにより、連邦最高裁判所は、保守・中道の判事が 4 名、リベラルの判事が 4 名という構成になったため、スカリア判事の後任者が、今後のアメリカ連邦最高裁判所の判断を左右するカギを握る可能性があるとして、大きな注目を集めた。連邦最高裁判所の判断は、アメリカ全体の方向性を示すことにもなるため、非常に大きな意味を持つからである。

研究会では、最高裁判事の任命過程やそれをめぐって生じてきたこれまでの政治的攻防、最高裁判事のパーソナリティと法的判断の関係などについて概説してもらうとともに、スカリア判事の後任として最高裁判事に就任したニール・ゴーサッチ判事について、特に法学的見地から解説していただく。

（本研究所所員 向井洋子）

《講師プロフィール》

略歴：横大道聡（よこだいどう　さとし）。2007 年慶應義塾大学法学研究科（公法学専専攻）博士後期課程単位取得退学。鹿児島大学教育学部准教授を経て、現在慶應義塾大学大学院法務研究科准教授。

2015 年公益社団法人日本青年会議所九州地区・鹿児島ブロック協議会「全国一斉！国民の主権者意識醸成プロジェクト」～自分たちの未来を考え、語り合い 描く」での基調講演ほか、「特定秘密：具体性乏しく　有識者会議も注文　初の国会報告（2015.06.23 東京新聞）」、「安保めぐる溝を懸念（2015.5.3　南日本新聞）」など、社会貢献活動やメディアの寄稿も多数。

※参加ご希望の方は、FAX または Email のどちらかにより事前の申込みをお願いいたします。

※駐車場が十分にございませんので、公共交通機関をご利用ください。

★☆★☆★☆